

卒業生紹介

古布縫い物展を開催された

昭和十五年本科卒 太田 弘子さん

脳血栓の後遺症を克服、手縫いで縫いぐるみなどを製作している昭和十五年本科卒業の太田弘子さん(八十)が平成十六年三月三日から八日まで、下関市旧英国領事館で古布を使った縫い物の作品展を開催された。心を込めて縫い上げる和布の美しさに共感の和が広がり、家族や太田さんを募り女性たちの支えで「傘寿の記念」として催された。



小学六年で着せ替え人形を作った裁縫好き。六十四歳の時、脳血栓で倒れ、三ヶ月間入院した。意識が戻り、最初に発した言葉は「裁縫箱を持ってきた」だった。後遺症で視野が狭まり、手が震えて字も書けなかったが、「不思議と、糸は針の穴に通った」という。一針一針、縫ってみた。かわいい人形の和服ができた。ウサギ、ネズミ、金魚などの小物も生まれ出た。眠っていた人形たちが生き返った。本格的に製作をはじめ、作品を知り合いにプレゼントしているうちに評判を聞きつけた近所の人たちが、古布を持って集まってきて、約十年前のこと。太田さんは、優しく丁寧に自分の技と知恵を伝え続けている。

(二〇〇四年三月三日 読売新聞下関版より抜粋)

当時を振り返って

湯山(旧姓諸岡) 紀美子 (昭和四十九年音楽科卒)



私は昭和四十九年度、音楽科第一期生として卒業しました。故・安武保一先生の多大なるご尽力のお陰で、昭和四十六年四月、付属高等学校に初めて、音楽科が新設されました。それゆえ、当時は、とても注目を浴びる科の一つでもありました。独特の科を持つという事に対しては勿論の事、大変新鮮味があったでしょうし、外部からのいろんな先生方の来校もあり、何となく校内全体が活気づいていたのは確かです。そんな環境の整った中で、音楽の道を志す私にとって、専門的な勉強が幅広く出来るというのは大変願ってもない事でした。ピアノ専攻の個人レッスンを始め、副科の声楽やバイオリン、ソルフエージュ、聴音など諸先生方の暖かいご指導のもと、充実した学校生活と共に三年間技術向上を目指す事が出来ました。卒業後は、同短期大学の音楽科に進み、更に二年間の勉強を経て卒業と同時に、ヤマハ音楽教室の講師に成り、二十一年間幼児の音楽の指導に携わって来ました。退職後現在も尚、ピアノ講師として指導を続けています。私が

今日あるのも、音楽科で学んだお陰です。心から感謝しています。有難うございました。

下関短期大学に入学して

松山 聖見 (平成十六年普通科卒)

下関短大に入学して、早くも二ヶ月が過ぎました。高等学校とは違い、授業時間が九十分と長く、毎時間の教室移動と教室を覚えるのが大変でしたが、今は学校にもほとんど慣れました。普通科を卒業後栄養健康学科に進学したので、勉強は大変ですが、調理実習や知らないことを知っていくので楽しく取り組んでいます。

卒業生総数

●河野高等技芸院	●下関河野高等家政女学校	●河野高等女学院
本 科 116名	本 科 704名	本 科 287名
研 究 科 22名	研 究 科 6名	研 究 科 46名
専 攻 科 15名	計 710名	計 333名
計 153名	●中学校計 627名	
	●高等学校	
	別 科 117名	
	専 攻 科 13名	
	商 業 科 400名	

平成16年度在校生 240名

家 政 科	1,368名
普 通 科	2,633名
生 活 教 養 科	390名
音 楽 科	866名
計	5,787名

卒業生総数 (平成16年3月卒まで) 計 7,610名

編集後記
一年に一度の同窓会を機会に、恩師の先生方やご友人と懐かしい思い出を語り合いたいと思います。また、編集にあたり多くの方々にご協力頂き、誠に有難うございました。最後に、母校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。
平成十六年 桜山同窓会実行委員一同

有限会社 オウミ OUMI Good Foods Create Company!

●本社・食品事業部 〒750-0049 山口県下関市栄町10-10-705 TEL0832-55-0127

●ナポレオンのやつあたり(豆富の創作料理) 〒750-0016 山口県下関市細江町1-7-12 TEL0832-32-2728

三井住友海上火災保険 三井住友海上ぎらめき生命

のぞみ保険サービス 総合代理店

住友海上下関支社 〒750-0018 下関市豊前町3-3-1 (海峡メッセ下関5階) TEL(0832)31-3132 携帯 090-7898-9543

事務所 〒752-0947 下関市長府満珠町18-16 TEL & FAX (0832) 45-6085 携 帯 090-7898-9543

旅のことなら... JTB For Your Travel & Life 世界をつなぐ旅と心

JTB山口支店まで

- 団体旅行 083(924)2369
- 個人国内旅行 083(922)3322
- 個人海外旅行 083(925)2255

◎営業時間/10:00~18:00
◎住所/〒753-0086 山口市中市町2-5
◎定休日/日・祝及び12月30日~1月3日※土曜日も営業しています。
◎ホームページ http://www.jtb.co.jp/shop/yamaguchi/

株式会社 下関十字堂楽器店

本 店 下 関 市 赤 間 町 3 - 3 1 TEL (0832) 23-2311(代) FAX (0832) 32-5249

宇 部 店 宇 部 市 相 生 町 5 - 1 2 TEL (0836) 21-5869 FAX (0836) 33-3630

グリーンコートフィールドマウンド... みんな感動のステージだ

熱血スポーツ応援団!

オオバヤシスポーツ Mizuno ミズノスポーツ販売店

ウベ店 宇部市新町9番30号 Tel 0836-21-0884 Fax 0836-22-7085

シモノセキ店 下関市赤間町1番4号 Tel 0832-31-8800 Fax 0832-31-1118

オノダ店 小野田市中川5丁目7番11号 (スポーツセンター前) Tel 0836-84-0065 Fax 0836-84-6566

紳士服&カジュアル&制服・学生服

コトウ

●本店 下関市細江町1丁目7-8 (光明寺下) TEL(0832)31-1200 FAX(0832)31-0904

●KOTO 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31-1100(代) FAX(0832)31-5713

●ARKS 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31-1301(代) FAX(0832)31-1300

あひだまちとフェイス to フェイス Face to Face

この街といきていく 下関信用金庫

下関市細江町1丁目1番8号 TEL0832-23-3461 FAX0832-23-3469 http://www.shimoshin.co.jp/

桜山だより

河野高等技芸院
河野高等女学院
下関河野高等家政女学校
下関河野学園高等学校

下関短期大学附属高等学校
下関女子短期大学附属高等学校
下関河野学園中学校
下関女子短期大学附属中学校



校訓
正 自覚
温 感謝
雅

発行人
桜山同窓会事務局
下関桜山町1番1号
TEL 0832-23-0338
FAX 0832-31-1681
印刷
泉菊印刷株式会社
下関市長府扇町8番48号
TEL 0832-48-3553
FAX 0832-48-0039

あなたに、会いたい



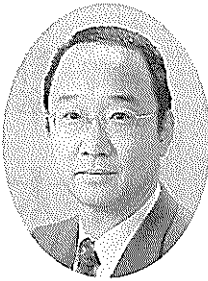
同窓会会長
松尾 ヨシ子

どんなに忙しくとも、年一回の同窓会には出席することになっている。それは、あなたに会いたいからで、世代の異なる友との出会いの中こそ、学ぶことが沢山ある。去年は、あの人が会えた、今年も誰との出会いが待ち受けているかと、想像するだけでも楽しい。先日、気のおける友達と、新緑の津和野・萩の城下町を散策したが、幾度となく訪れた街道も昔の歴史を大切に保ちながら、新しい感覚で住民一丸となって町を守っているのを肌で感じとれた。人は、幼い頃に身についた習慣というのは怖いもので、よほど良い教育を受けない限り矯正するのは難しいといわ

れる。幸にも私は自慢にできることがある。よく人から「姿勢がいいネ」と誉められる。これこそ、河野タカ先生のお陰と感謝している。世代の違いはあるが、一貫した教育方針「真理を求め、正義を愛し日々自覚をもって励み、真の女性の強さ」を共に学んだ学び舎の行く末を見守り、学園の現状報告を聞くことが出来、恩師との再会、懐かしい友との交流ができるのが同窓会であり、会員のみんなで支え合うものであります。昔では、「人生なんて何だろ」と中高年のアイドル綾小路きみまろの「豊かな教養・あふれる美貌に、こぼれる脂肪」・「会社のために、手と

なり足となりクビになり」と中高年をネタにした漫談で人気があった。それを聞いて心が癒される人がいるかと思えば、「ヨシ様」・冬のソナタという韓国のドラマが、若者から中年まで幅広い人脈で人気となっていて、わからなくはないが今、求めているのは、笑い・楽しみ・心のなごむことかな？ わたしも、若き日「忘却とは忘れ去ることなり、忘れ得ずして忘却を誓う心の悲しきよ」の名文句に酔いしれた時もあった。これからの人生、わたしなりに何でも楽しむ幸せと、積極的の外に出て、人に触れ合うことの大切さ、人との出会いが視野を広げ、向上させることを信じ、プラス志向で楽しく過ごしたいと思えます。来る7月の第三日曜(7月18日)桜山同窓会です。皆さんとお会いしましょう。あなたに会えると思います。

自分に、あいたい



校長
伊藤 清之

平成十六年度の桜山同窓会が、かくも盛大に催されますことに、心より御祝い申し上げます。これも、松尾会長をはじめ、役員の方々、そして当番幹事のみならず、大変な御苦労があった会の成功だと感謝申し上げます。

が、実は私も今年度は母校の同窓会のメイン幹事学年なのです。私は下関に住んでおりますので、直接の準備には携わっていませんが、幹事の苦労は手に取るように理解できます。何事も準備が大変なので、準備がちゃんと出来れば、その会の八パーセン

トは成功したと言ってもよいでしょう。ところで、これは私が授業中にも話すことなのですが、私には私を含め八名の友人、代々の同級生です。この八名は、大学卒業後から約三十年間、毎年年末に一泊を兼ねての同窓会を行なっています。全員結婚前からの恒例の行事なので、家族も了解なわけです。特別なことをするわけでもなく、夕方に集合し、風呂に入り、酒を飲み、そして翌朝、「じゃあまたな」と言って別れていく。ただこれだけの事が三十年続くと、誰一人として止めようとは言わない不思議な関係なのです。多分高校時代に出来あ

一息吐いて...

教諭 野田 和敬



付属高校の教師を務めて26年が経つ。まさに四半世紀。あらためてこう書くとなんとなく勤務している事になるが、不思議とそんな自覚は無い。「何時の間にか？」というのが正直な気持ちだ。

と、26年前、昭和53年といえ、ディスプレイ付きのパソコン(当時はマイコンと言った)が日本で初めて世に出た年だ。早速、大枚をばたいてマイコンを購入した。ただただマイコンという機械が珍しくその仕組みが知りたくて、つづき回していただけである。以後、新しいパソコンが発売される度に購入した。合計10台は優に超えるだろう。パソコンの黎明期から関わってきただけに、情報化社会に対する対応もけつして不慣れではないと自負している。しかし、そんな私でも今の情報化の流れには目を見張るばかりである。携帯電話、パソコン、インターネットと次々に情報機器が登場・普及してきた。特にインターネットの

普及率は凄まじいものがある。郵政省の平成11年度の白書に情報機器の普及率が10%を超えるのに要した年数が掲載されている。パソコン13年、携帯電話15年、普通の電話に至っては76年もかかっている。しかし、インターネットは何と5年だ。そう、そして、とうとう2003年には普及率が60%を超え7700万人以上の日本人が利用しているという。情報化の流れは益々激しくなるばかり。

確かにインターネットをはじめとした情報機器は便利だ。知りたいことはすぐに調べられるし、文章作成・計算などもほとんど時間を掛けずに済ませられるようになった。ではその分だけ時間が出来たか、ゆとりを持てるようになったかというところ、現実にはそうとは、便利になった。そして「忙しくなった」と言うこと。機器が便利で効率的になった分だけ、仕事も機器に便利にように効率的に割り振りされる。圧倒的な情報量と、様々な情報機器。それにしがみついただけでゆとり情報に味する時間がない。ただただ流されていくばかりである。昔、日本三大急流の一つである球磨川で小舟に乗って川下りをしたことがある。流れの急な所では頭を下げて船の縁にしがみつく。しかし、川面

や船の縁を見ている限りでは、流れている事は意識できてもそのスピードまではつかめない。激流を抜けホッと一息。顔を上げると、眼前に溪谷の景観が展開され感動を覚えたものだった。

さて、情報化社会の景色はどうであろうか。一息吐いて顔を上げたときに感動できれば問題ないが恐怖心に襲われはしないだろうか。「何時の間にか？」では取り返しが着かないように思えてならない。

お世話になりました

- 常勤 森中登美子先生 (国語)
- 岡村 正典先生 (事務局長)
- 非常勤 五十嵐美紀子先生 (音楽)
- 大江 知美先生 (体育)
- 片山 隆剛先生 (総合)

お世話になります

- 常勤 仲匡先生 (理科)
- 益本 光章先生 (国語)
- 非常勤 山本 憲子先生 (体育)
- 伊多倉 潔先生 (音楽)
- 野村 和恵先生 (音楽)

平成16年度 卒業同窓会入会式 委嘱状授与

- 普通科三年一組 恩村 織江、佐々木 空美、中村 愛季子、宮野 朗子
- 普通科三年二組 坂田 雅美、坂本 美紗、土山 華名美、藤村 聖和、松山 見
- 生活教養科三年 市川 祐江、隅田 寛美、利田 惠美、中山 美由紀、脇山 加奈子
- 音楽科三年 石田 敬太郎、岩切 深幸、山村 智子
- 合同卒業生 福田 濱田 智子 (平成九年普通科卒、平成十五年三月)
- 野口(井戸)裕美子 (平成十一年音楽科卒、平成十六年三月)
- 恩師 水野采津寛子先生(家庭科) (平成十五年四月)
- 福岡 徳昭先生(数学) (平成十五年十二月)
- (昌念) 玲奈先生(数学)
- 物故者(同窓生) 岡アサ子 (昭和七年本科卒、平成十年二月二十一日亡)
- 福田 フサエ (昭和五年本科卒、平成十五年二月八日亡)

下関労務管理事務所
労働保険事務組合 下関商工センター
〒750-0066 下関市東大和町2丁目4-13
TEL0832-67-7177 FAX0832-67-2037
ホームページ: http://www.7.ocn.ne.jp/~rokan/
Eメール: rokan@gamma.ocn.ne.jp

- 下関 石子 (昭和十四年本科卒)
- 浪越(中井)峰子 (平成十五年三月七日亡)
- 昭和十八年本科卒
- 西條(田口)文子 (平成五年十月亡)
- 昭和十九年家政科卒
- 関口(藤井)幸子 (平成三年七月亡)
- 昭和十九年本科卒
- 村田(村田)昌子 (平成十四年九月三十日亡)
- 昭和十九年本科卒
- 高田(浜浦)トヨ子 (平成十五年六月二十日亡)
- 昭和二十年本科卒
- 勝原(是松)百合子 (平成九年一月二十二日亡)
- 昭和二十二年本科卒
- 河本(田中)スミエ (平成九年九月七日亡)
- 昭和二十三年本科卒
- 高谷(大下)ハル子 (平成三年四月十二日亡)
- 昭和三十一年商業科卒
- 中場(大賀)雅子 (平成十五年十二月八日亡)
- 昭和三十三年家政科卒
- 宮村 美智子 (平成十四年三月三十日亡)
- 昭和三十四年家政科卒
- 妻崎(金山)京子 (平成十五年七月七日亡)
- 昭和三十九年普通科卒
- 山城(中野)百合子 (平成十四年十一月一日亡)
- 昭和四十年商業科卒
- 瓜生(村田)萩枝 (平成六年亡)
- 昭和四十一年普通科卒
- 西本 貞子 (昭和四十二年普通科卒)
- 昭和四十二年普通科卒
- 小林 邦子 (平成五年九月六日亡)
- 昭和四十七年普通科卒
- 弘中(川田)郁子 (平成十三年二月十日亡)
- 昭和五十年普通科卒
- 堀川(竹崎)真澄美 (平成十四年六月五日亡)
- 昭和五十五年普通科卒
- 山本 美樹 (平成十二年一月亡)
- 平成七年音楽科卒